

特別支援教室(ポプラルーム)について

1 特別支援教室では

苦手なことや不得意なことによって、学校生活にうまく参加できない子供に対して、一人一人の実態に合った学習や具体的な対応の仕方を身に付ける学習を行います。

周囲の状況を把握して、その場にふさわしい行動がとれるようにするために、小集団での関わりの中で経験を積みながら自信を付けていきます。

学習に対して、意欲や自信を失わないよう、成功体験を積み重ねられるよう、個々の状況に配慮しながら学習をしています。

2 教育目標

児童一人一人の実態と特性に応じて状態の改善及び調和的な発達を図り、学校生活における不適応状態の改善を目指す。

- 1 学校生活や社会生活への適応を目指し、社会性の伸長を図る。
- 2 個別指導と小集団指導を適切に取り入れ、対人関係を改善して情緒の安定を図る。
- 3 特別の指導や失敗経験の克服等を通して種々の困難を改善・克服する意欲を育て、自己有用感の育成に努める。
- 4 児童の実態を的確に把握して個別指導計画を作成し、適切な指導を行う。指導効果を評価し、改善を図る。

3 指導の重点(基本方針)

- 1 教育活動全般を通して温かな人間関係を築き、情緒の安定を図る。
- 2 児童の実態に即し、生活に必要な諸技能の育成や、在籍学級適応につながる指導を行う。
- 3 日常生活や学習活動に必要な基本的態度の習得と運動機能の改善を図る。
- 4 言語の発達を促し、基本的ソーシャルスキルを身に付け、コミュニケーション能力を高める。
- 5 基本的生活習慣を身に付け、健康・安全に関する諸能力の向上を図る。
- 6 周囲の状況を的確に把握し、その場にふさわしい行動が取れるようにする。

4 主な指導の内容

学習のねらい	内容(例)
★学習態勢の確立を図る。 (注目・傾聴、姿勢の保持など)	・見る、聞く、集中トレーニング ・ソーシャルスキルトレーニング など
★言語・コミュニケーション能力を高める。	・スピーチ、ロールプレイなど
★日常生活に必要な言葉や、場に応じた行動や態度を身に付ける。	・言葉あそび ・ロールプレイなど
★対人意識を高め、他者との適切な関わり方を身に付ける。	・ソーシャルスキルトレーニング (SST 絵カードやロールプレイ) ・勝敗のあるゲーム ・話し合いなど
★怒りのコントロール	・アンガーマネジメント
★視機能の改善・向上	・ビジョントレーニング

★粗大・微細運動の改善・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合 ・サーキット ・作品作り（はさみ・のりなど）
★特性に応じた国語・算数等などへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニング ・書字（ひらがな・片仮名・漢字・特殊音節など） ・読字 ・計算 ・気持ちの表出 など
★ライフスキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺整理 ・身だしなみ ・時間感覚 ・社会のルール理解 など

5 指導体制

ポプラルーム教員が5人で、練馬第二小学校、練馬第三小学校、春日小学校、向山小学校に曜日ごとに巡回し、指導します。その他に、各校に「特別支援教室専門員」が配置され、「巡回発達心理士」が月に1度程度巡回します。

個別の学習は、教員1名に対して児童1名～2名で行います。小集団（運動・チーム）の学習は、概ね2名～8名で行います。

一人一人の実態に応じて個別指導計画を作成し、指導します。また、担任の先生や保護者の方との連携を大切にし、個人面談や在籍学級の授業観察や支援を行います。

◎巡回曜日

曜日	月曜日		火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
(午前)	春日小	向山小	練馬第二小	練馬第三小	春日小	向山小
(午後)	練馬第三小					

*月曜日は、午前中に春日小と向山小に分かれて巡回指導を行います。午後は練馬第三小学校にて指導を行います。

・特別支援教室専門員

ポプラ教員や特別支援教育コーディネーター、在籍学級担任等との連絡調整や児童の行動観察や記録、行動支援、指導補助等を行います。

・巡回心理士

児童が抱える困難さを的確に把握するための行動観察を行い、指導上必要な配慮や校内委員会での検討に必要な資料の作成や助言を行います。

6 通室・退室について

運動、チーム、個別を児童の実態に応じて組み合わせて指導します。在籍学級担任とポプラ担当が連携して指導計画を立てます。個別の指導目標がおおむね達成され、在籍学級での適応状況が改善された場合、指導時間を減らしていき、保護者・在籍学級担任・ポプラルーム担任の3者の了承の元、指導終了となります。

7 個別指導計画の作成について

指導にあたっては、児童の実態を捉えて保護者と在籍学級担任とポプラルーム担任の三者で指導の方向性を共通理解し、「連携型個別指導計画」を作成します。保護者の方には、保護者面談の際に指導計画の内容や指導時の様子をお知らせします。

8 入室を希望される方は

1. 就学しているお子さんで、入室を希望される方は、各在籍校にお申込みください。
2. 未就学児童は、練馬区教育委員会 教育振興部『学務課就学相談係』に直接ご連絡ください。

学務課就学相談係 直通 TEL : 03 - 5984 - 5664 <練馬区役所 本庁舎 1 2 F>

※ 施設見学を希望される方は、ポプラルームまでご連絡ください。

練馬第三小学校ポプラルーム 直通 TEL : 03 - 3970 - 0680

FAX : 03 - 3577 - 7988

ポプラルームってどんなところ？

じぶんのクラスで たのしくすごせるように つぎの6つのことを まなぶところです。

じぶんのことを しる

- とくいなところ
- よいところ
- がんばりたいこと
など



きもちを コントロールする

- きもちを きりかえる
- きもちを おちつかせる
- きもちに ブレーキを かける
など



きもちを つたえる

- じぶんの おもっていることを つたえる
- 「ありがとう」「ごめんね」を いう
- あそびに 「いれて」という こえかけをする
- じょうずに ことわる
など



からだの うごきを しる

- て ゆびの うごきを しる
- あし うでの うごきを しる
- めの うごきを しる
など



じぶんにあった まなびかたを みつける

- けいさんの しかた
- おんどくの しかた
- ぶんしょうの よみとりかた
- じの かきかた
- はなしかた
- とりくみかた
- ききかた
など



なかよく かつどう する

- あいての きもちを そうそうする
- さいごまでやる
- まけそうになっても おこらない
- かっても じまんしない
- みんなと おなじ ルールでやる
- みんなと きょうりょくする
など



ポプラルームでは 「にがてなことは すこしでもできるように できることは もっとできるように！」おうえん します。